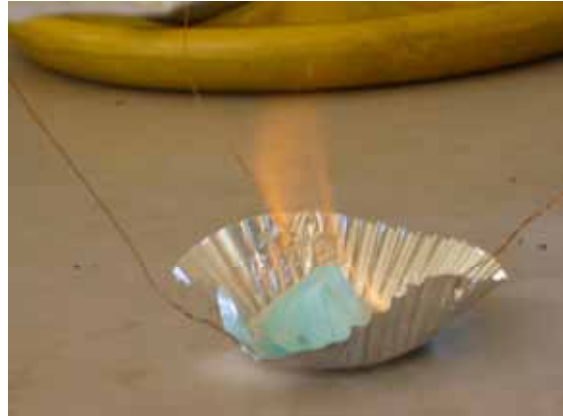


生活と結びつけた素材の開発「バルーンをとばそう」

嬉野・鹿島・太良支部 多良小学校 菅崎 豊

1 素材の紹介

佐賀の風物詩といえば、バルーンフェスタ。佐賀の子供達の生活とマッチした熱気球のミニチュア版を作ってみました。



2 関連する学年と単元

- ・ 4年「もののあたたまりかたをしらべよう」

3 準備する物

<材料>

- ・ ポリエチレン袋：縦650mm×横800mm×厚さ0.015mm
- ・ エナメル線：太さ0.5～0.2mm，長さ20cm×3本
- ・ アルミホイールケース：直径3～5cm
- ・ 固形燃料：4分の1程度

<道具>

はさみ，着火具，セロテープ，30cm定規，穴開け道具，ぬれ雑巾

4 作り方

アルミホイールケースとポリエチレン袋に3カ所穴を開ける。
アルミホイールケースとポリエチレン袋をエナメル線でつなぐ。

5 とばし方

アルミホイールケースに固形燃料を入れる。
ポリエチレン袋を広げ，点火の準備をする。
点火してポリエチレン袋がふくらんだら手を離す。



6 備考

- ・ 点火するときにポリエチレン袋に火が燃え移らないよう注意する。
- ・ 袋を広げる役と点火する役が必要です。
- ・ バルーンは固形燃料の火力が弱まるまで2～3分は浮いています。
- ・ とばす場所は気流の安定した屋内で，可燃物の少ないところが適当です。